

2026年3月10日



たてくるジオパーク

だより 第88号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp

HP: https://tatekuro.jp/



https://facebook.com/tatekuro

第13回 日本ジオパークネットワーク 中部ブロック大会 立山黒部大会が開催されました

2月5、6日、県外7ジオパークからの参加者を迎え、第13回日本ジオパークネットワーク中部ブロック大会立山黒部大会を開催しました。

1日目は、インテック大山研修センターにおいて、中尾哲雄立山黒部ジオパーク協会会長の開会の挨拶、富山市の美濃部雄人副市長の歓迎のことばに始まり、山岳ジオガイドの大塚憲一氏による「雪の大谷が語る水と氷の物語」と題した基調講演、「ツーリズムのブラッシュアップ」をテーマとしたパネルディスカッション、金沢大学准教授の山田菜緒子氏によるジオガイドを対象としたインタープリテーション研修、模擬ガイド形式のガイド講習などのプログラムをこなし、夕食、交流会で、情報交換と交流を深めました。

翌日のエクスカッションは、あいにくの雨模様でしたが、静けさの中、磨崖仏や滝行の場の荘厳さなど、大岩山日石寺の魅力をつぶりと感じる事ができたのではないかと思います。

ますのすしミュージアムでの昼食、見学を終え、無事に全日程を終えることができました。

今後、中部地区のジオパークの活動がますます前進することを期待したいと思います。



中尾会長 挨拶



パネルディスカッション



インタープリテーション研修



ガイド講習 [模擬ガイド]



エクスカッション [大岩山日石寺]



なごやかに夕食会



参加者総勢63名



立山黒部ジオパーク

TATEYAMA KUROBE GEOPARK



GEOPARKS
JAPAN



1/31 下立地区かんじき体験会

下立地区ジオサイト保護・活用事業の一つ、かんじき体験会を行いました。参加者は50人を超え、遠くは金沢から来られた方もいらっしゃいました。やわらかい新雪に悪戦苦闘しながらも笑顔で全員歩き切りました。ゴールした後、下立財産区や振興会・公民館のご好意により、キャンプ飯やなめこ汁、クロモジ茶が振る舞われました。身も心もポッカポカの半日でした。



1/31 ジオパーク散歩 in 片貝



この日は、クロスカン트리ースキーで雪の上を歩く「ジオパーク散歩」を魚津市の片貝で行いました。ここ数年は天候や積雪不足の影響で実施できない年が続いていたため、今回の開催を心待ちにしておられた方も多く、待望の実施となりました。

深くてフカフカの雪の上を、自然の解説も聞いて、片貝山ノ守キャンプ場までゆっくり歩きました。クロカンスキーが初めての方もいらっしゃいましたが、次第にコツをつかみ、終始笑顔で最後まで楽しんでいたのが印象的でした。冬ならではの自然を体感できる一日となりました。



2/5 ガイド認定書授与式

2月5日、新規ジオガイドの認定書授与式を執り行いました。当日は、中尾会長より一人ひとりに認定書が手渡され、今後の活動への期待を込めた激励の言葉が贈られました。

今回、新たに16人の仲間を迎えたことで、地域の魅力を発信するジオパークの活動はさらに広がりを見せていきます。新規ガイドの皆様の今後の活躍が大いに楽しみです。



富山市科学博物館

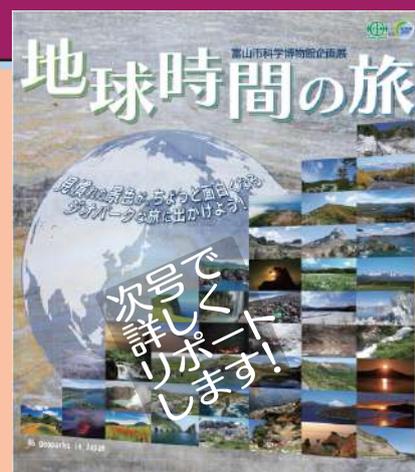
ジオパーク巡回展 『地球時間の旅』 が始まります

全国のジオパークから集めた岩石や風景写真をとおして、身近に隠された地球スケールの物語をひも解き紹介します。立山黒部ジオパークが所有するパネルも多数展示してあります。

2026.3.19(木) → 5.17(日)

※観覧料(大人530円)が必要です。[高校生以下無料]

★1階展示「とやま・時間のたび」・ロビーも
3月19日にリニューアルオープンします!!



能登半島震災アーカイブ

令和6年能登半島地震
～震災の記録と未来への備え～

学ぶ 訪れる 備える 暮らす



学ぶ

身近におこった令和6年能登半島地震の被害について学ぼう

令和6年能登半島地震の被害



スマートフォンなどではこちらからご覧になれます。



<https://hakusan-geo.jp/noto-archive/>

令和6年能登半島地震の発生から時間が経過する中で、白山手取川ジオパークが中心となり、糸魚川、佐渡、苗場山麓、立山黒部の震源域周辺のジオパークが連携して、いかに震災の記憶を継承し、その教訓を次世代へ繋いでいくか、ジオパークとしてできることを考えてきました。

このような中で、アーカイブサイト「令和6年能登半島地震～震災の記録と未来への備え～」を制作することとなりました。5つのジオパークで協議を続け、協力しながら制作を進めてきたアーカイブサイトが一般公開される運びとなりました。

このサイトは、単なる被害の記録に留まらず、これからの地域を担う子どもたちや地域の住民のみなさまが主体的に学べる「防災教材」として活用いただけるよう構成しました。ぜひ一度、サイトをご覧ください。

2/24 呉羽高校出前授業

この日は、県立呉羽高等学校へ出前授業に伺いました。災害学習「富山で起きる災害とそれに対する対応」の導入部分で、富山県内の地形の特徴やそれに関わっての過去の災害について話をしました。地震の話をした際には、白山手取川が中心となり立黒ジオパークを含めた近隣のジオパークで作成した『能登半島地震アーカイブ』の紹介をしました。生徒のみなさんは興味津々の様子でした。

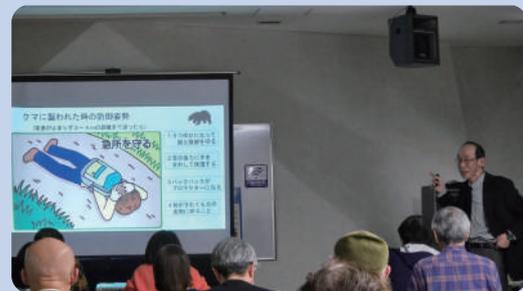
この後、高校の近辺ではどんな災害が予測され対応をどうしてけばよいかや、県外に住んだ時にどう対応していけばよいか等について、調べ学習を進め、話し合いをしていく予定だそうです。豊かな学習活動が展開されそうです。



2/15 リスクマネジメント研修

ジオガイドを対象としたリスクマネジメント研修をサンシップとやまで開催しました。昨今、ジオガイドが活動するフィールドでもクマの目撃情報が増加しており、ガイド自身の安全確保はもちろん、参加者の命を預かる立場として、正しい知識と判断力が求められています。

今回は富山県自然博物館ねいの里の野生鳥獣共管理員・赤座氏を講師に迎え、「野生動物と生きる～ツキノワグマとどう付き合うのか～」というテーマのもとご講演いただきました。ツキノワグマの生態や出没傾向を知り、野生動物との向き合い方を学ぶ大変有意義な研修となりました。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK





雄山神社は霊山立山を御神体と仰ぎ昔から立山信仰の中心となってきました。

雄山頂上の峰本社（みねほんしゃ）、芦峯寺の中宮祈願殿、岩峯寺の前立（まえだて）社壇の3社をもって雄山神社となっています。前立社壇は3社の中で一番平野に近く、常願寺川が平野に出る扇頂部の河岸段丘の上に鎮座しています。立山の前に立つ社であることからその名で呼ばれています。

本殿は室町時代の建築で神社本殿として北陸最大の規模です。屋根は檜皮葺（ひわだぶき）の五間社流れ造りで、本殿の正面に6本の柱を用い、柱間（はしらま）が5つになることから五間社と呼ばれ、神社本殿のほとんどは1間や3間の流れ造りなので、大変珍しく立派な造りとなっています。

前立社壇本殿は、1906年に国の重要文化財に指定されました。

前立社殿本殿は、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。



サイトの保護・保全のお願い！

私たちの大切な宝物であるジオ・自然・文化サイトを壊したり汚したりされませんよう保護・保全にご協力をお願いします。また、サイトが破損や汚染しているのを見かけられたら、当協会までお知らせください。

立山黒部ジオパーク協会

TEL 076-431-2089

E-mail info@tatekuro.jp



2/23 北アルプス トレイル プログラム

「北アルプストレイルプログラム」は北アルプスにおいて持続可能な登山道を維持し、利用者にも登山道維持の取り組みに参加していただくという活動で、それに取り組む各団体の事業報告会と今後の活動の方向性を探るグループワークが開催されました。

中部山岳国立公園内の県内の登山道は300キロ程あり、これまで行政や山小屋などが維持・管理してきましたが、コロナ禍以降、費用負担や人材不足などが大きな課題となっていることが、各団体からの報告で浮かび上がりました。

後半のグループワークでは、一昨年からの試験的に始めた、登山者に協力金を求める制度の周知など、具体的なアイディアが出されていました。

環境省中部山岳国立公園管理事務所と『中部山岳国立公園パートナーシップ』を結んでいる当協会としましても、どういう貢献が出来るのか、引き続き検討してまいります。



〈編集後記〉

上の記事の、登山道の維持に取り組んでいる団体は、山小屋のほか、地域の遭難対策協議会や任意団体のトレイルクラブなど様々ですが、共通するのは、基本的にはボランティアでの活動である点です。快適な登山はこうした篤志に支えられているのですね。

「北アルプストレイルプログラム」の取組は、左の2次元コードからもご覧いただけます。

登山愛好者の方に限らず、一般市民のみなさまにも、知っていただきたいと、強く思いました。



立山黒部ジオパークへのご意見などはこちらへ！



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

